

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成27年度 第1回ジョンソン基地跡地利用計画審議会
開 催 日 時	平成 27年4月24日(金) 午後1時30分 開会、午後2時40分 閉会
開 催 場 所	産業文化センター第2集会室
議 長 氏 名	関根栄一
出席委員(者)氏名	青山正一、岩崎 茂、大賀志日出輝、久原愛生、小鹿広美、 駒月理人、澤田壽一、関根栄一、高石直美、高橋康造、 瀧 和之、豊泉一雄、吉川弘三
欠席委員(者)氏名	安孫子 学、岩井 絹江
説 明 者 の 職 氏 名	課長 浅見嘉之、副主幹 亀田一生
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 議 題 (1) 防衛省へ確認した事項の回答について (H27.03.17 第4回審議会での質疑) (公開) (2) 意見交換について (公開) ①災害対処拠点について ②自衛隊病院について ③緑地帯について ④その他について 3 次回の日程 4 閉 会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	23名

配 布 資 料	・資料１２ 防衛省へ確認した事項の回答について
事務局職員職氏名	企画部長 田中利之、次長 長谷川芳明、企画課長 浅見嘉之 主幹 宮澤昌樹、副主幹 亀田一生、主事 松本幸文
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

次の議題について、委員からの質疑を受け事務局が回答した。

- (1) 防衛省へ確認した事項の回答について (H27.03.17 第4回審議会での質疑)
- (2) 意見交換について
 - ①災害対処拠点について
 - ②自衛隊病院について
 - ③緑地帯について
 - ④その他について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)
関根会長	<p>それでは、早速議事に入ります。議事（１）東町側留保地の防衛省へ確認した事項の回答について、事務局より説明願います。</p>
浅見課長	<p>それでは、防衛省へ確認した事項の回答についてご説明します。</p> <p>前回の第４回会議で委員の皆様からいただいた質問について防衛省に確認しました。資料１２をご覧ください。</p> <p>問１：病院及び災害対処拠点ができることによる平時における入間基地に飛来する航空機の増加見込み。</p> <p>これは前回会議で大賀志委員からいただいた質問です。</p> <p>答え：防衛省による回答は、次のとおりです。</p> <p>当該任務の性質上、そのための頻度等を予め想定することは難しいと認識しています。一般論として申し上げれば訓練を計画した場合には、それに伴った航空機の運航の増加は想定されるところです。</p> <p>他方、自衛隊病院が所在することにより飛来する航空機が増加した事実はなく、入間基地においても同様に病院ができることによる増加はないものと見込んでおります。いずれにしましても、具体的な運用に際しては、周辺への影響を極小化できるよう、最大限努めて参ります。</p> <p>問２：病院ができることにより、搬送のための夜間飛行が現状より増えるのではないか。（特に夜間の臨時の飛行も増える可能性があるのではないか。）</p> <p>これは、問１の質問に関連して、事務局で確認をとったものです。</p> <p>答え：防衛省による回答は、次のとおりです。</p> <p>当該任務の性質上、そのための頻度等を予め想定することは難しいと認</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>識しています。自衛隊病院が所在することにより飛来する航空機が増加した事実はなく、入間基地においても同様に病院ができることによる増加は無いものと見込んでおります。いずれにしましても、具体的な運用に際しては、周辺への影響を極小化できるよう、最大限努めて参ります。</p> <p>問 3：工事車両の国道から正門までのルート of 想定は。（伐採・抜根、病院建設工事等で相当数の車両が出入りすることになるが、通学路や生活道路に影響のないよう配慮を頂く必要がある。）</p> <p>これは、前回会議で岩井委員からいただいた質問です。</p> <p>答え：防衛省によれば、工事業者や工事内容等が決まっていない現段階では、ルートについて具体的にお答えすることは難しいとのことです。いずれにしましても工事車両の適切な通行ルートや、時間帯の設定等は、市民の方々の通行の安全に最大限配慮していくとのことであります。</p> <p>市としましても防衛省に対しては、関係機関と事前に協議した上で、工事を進めるよう要請して参ります。</p> <p>問 4：平時において訓練場を使用する頻度はどの程度か。（平時は訓練場という位置づけになるものの、常時訓練を行うものとは考えにくい。具体的にどのような頻度で、どのような内容の訓練を行うのか。入間基地の部隊、派遣部隊それぞれ。騒音等の心配はないか）</p> <p>これは、前回会議で久原委員からいただいた質問です。</p> <p>答え：防衛省によれば、訓練という性質上、これを定量的に示すことは難しいとのことです。災害時に派遣が予定される部隊の展開訓練を行うことが想定されますが、輸送機等の離発着については、基本的に飛行場地区を使用すると聞いております。</p> <p>いずれにしましても、訓練の実施にあたっては、周辺への影響を局限できるように配慮すると共に、訓練計画の策定にあたっては、市民の方々によ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>る運動場の利用要望にも可能な限り配慮するよう要請して参ります。</p> <p>以上が、防衛省へ確認した事項の回答について説明です。</p> <p>続きまして、前回会議において、委員の皆様からいただきましたご質問やご意見の中で、市としての考え方を問われた事項が2点ございましたので、ご説明します。</p> <p>まず、1点目ですが、大賀志委員からのご質問であります「病院及び災害対処拠点ができることによる平時における入間基地に飛来する航空機の増加見込み」に関連して、「市では防音（騒音対策）をどのように考えているのか、それを防衛省に伝えているのか」ということについてお答えします。</p> <p>先ほどの防衛省による回答によれば、一般論として訓練を計画した場合には、それに伴った航空機の運航の増加は想定されるところであることから、市としましても、訓練が実際に実施される際には、航空機の運用を必要最小限にとどめるよう防衛省に対しては要請してまいります。また、これまでも、埼玉県基地対策協議会を通じて、航空機騒音については、環境基準の達成や防音工事の拡充を要望して参りました。今後とも同様に要望していく考えです。</p> <p>さらに、先日、東町側留保地の利用に関して防衛省と調整を行った際にも、災害対処拠点施設ができることによる航空機の増加見込みに対して、市民生活に影響を生じさせないように、改めて要望を伝えたところでございます。</p> <p>次に、2点目ですが、同じく大賀志委員からいただいたご質問であります「首都直下地震の想定」に関連して入間市付近に存在する活断層（立川断層帯）を震源とする地震についても、中央防災会議では検討しているのか確認してほしいということでございました。また、その地震が発生した</p>

発 言 者	発 言 内 容
<p>関根会長</p> <p>大賀志委員</p> <p>浅見課長</p>	<p>場合、入間市の揺れの大きさは、震度6強などになることが心配であるということでした。</p> <p>事務局で調べましたところ、平成25年12月の中央防災会議（首都直下地震モデル検討会）の報告の中で、立川断層帯の地震についても検討されていました。この報告書によりますと、活断層の直上付近で震度6強、その周辺のやや狭い範囲で震度6弱の想定となっております。</p> <p>この中央防災会議では、首都直下地震として19のモデルを検討していますが、首都直下地震はいつどこで起こるかわからないものということを認識することが大切であると考えます。したがって、東町側留保地の災害対処拠点で対応できる場合とできない場合が生じるものと推測いたします。</p> <p>前回会議でのご説明と重なりますが、今回、防衛省が示したものは、19の地震の中で、都区部で最も被害が大きいと捉えた「都心南部直下地震」をモデルとし、これを根拠に想定したものでございます。この地震の場合には、東町側留保地の揺れは、震度6弱で甚大な被害は免れると予想しているものでございます。</p> <p>以上が、市の考え方の説明でございます。</p> <p>ただいま事務局より説明がありましたが、質問等がありましたらお願いします。</p> <p>2つあります。1つ目は、防衛省の回答とありますが、防衛省のどなたなのでしょうか。防衛省の本省ですか。それとも入間基地ですか。</p> <p>本省です。</p>

発 言 者	発 言 内 容
大賀志委員	その窓口となっている担当者の部署と役職を教えてください。
浅見課長	防衛省施設整備課の防衛部員です。
大賀志員	<p>問1は私の質問ですが、ここ（資料12）には名前が載っていません。次回からはこの回答書に誰の質問なのか名前を入れてください。また、回答者の名前は必ず入れてください。</p> <p>もう一点、この防衛省の回答ですが、それはフェイス トウ フェイスの話ですか。それとも文書、電話、メールなど、どちらですか。</p>
浅見課長	まず回答のメールが届き、その資料をもとに相対で確認しました。
大賀志委員	こちらから防衛省に出向いたのですか。
浅見課長	防衛省が市に来られました。
大賀志委員	<p>防衛省の回答は、誰が見ても「この程度か」という内容です。実際まだできていないものなので、この程度の答えになるとは思いますが。</p> <p>私が最も気にしているのは騒音です。ここ数日すごく飛行機が飛来しています。そこで質問ですが、入間基地と入間市で、離着陸時を除き、入間市上空を飛ぶ際の高度の取り決めはしていますか。</p>
浅見課長	高さの制限をかけるよう、市から要望をしているか、ということですか。
大賀志委員	要望というより、市と入間基地の間で高さ制限について話し合いをしているかということです。

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>私の記憶ではそれは無いと思われます。あるとすれば、横田基地の米軍の方が管制力は強いため、米軍のほうから規制がかかっているかもしれませんが、入間基地と市の間で高さ制限の話は無いと思います。</p>
大賀志委員	<p>では米軍が制限する高さとは何メートルなのですか。</p>
浅見課長	<p>そこまでは存じ上げておりません。</p>
大賀志委員	<p>入間基地に問い合わせたところ、航空法に基づいて定める安全規約を努力目標としており、人、建物の密集地上空を飛ぶときは、飛行する飛行機の半径600メートルの範囲で最も高い建物よりも300メートル以上を飛ぶということでした。ところが、飛行機は非常に高速で飛行するため、パイロットが建物の高さを見極めて、何メートルの建物があるから何メートルで飛ぶなどということはできないわけです。</p> <p>入間市で最も高い建物を調べたところ、総合クリーンセンターの鉄塔が80メートルでした。ということは、入間市で飛ぶ時の最低高度の最大は380メートルです。</p> <p>一方、横田基地と福生市の間では文書で取り決めしています。離着陸を除いて1500フィート、450メートルなければならないという約束をしています。1ヶ月ほど前にNHKの番組で福生市の住民が、「最近飛行高度が低い」と話しているところを、飛行機が低空飛行する場面がありました。450メートルという取り決めをしていながらも実際には低空で飛んでいます。</p> <p>この施設ができれば、1個師団、6000人～8000人が飛行機やヘリで来るわけですね。国民としては、災害時にいち早く救助活動する基地ができることは大いに歓迎しますが、住民としてはその訓練の時に、高さ制限を入間市と入間基地、あるいは防衛省との間で取り決めておかなければ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>れば、大変なことになります。</p> <p>また、狭山市と所沢市にも電話したところ、いずれも何の取り決めもしていないとのことでした。ですから、狭山市、所沢市と合同で申し入れをすべきだと思います。何の取り決めもないまま進めてしまうと、相当騒音に悩まされることになります。そういったお願いです。</p>
浅見課長	<p>はい、ありがとうございます。</p>
関根会長	<p>他にございますか。無ければ次の議題に移ります。</p> <p>「（２）意見交換について」です。意見交換は、前回、防衛省から示された「入間基地隣接留保地の利用について」及び東町留保地の防衛省の利用に対する市の考え、また、これまでの審議会で出された意見等を踏まえ、①「災害対処拠点」②「自衛隊病院」③「緑地帯」④「その他」の４つ項目に分けて、受入れすべきと判断できる点、受け入れの判断にあたり条件とすべき点、再度防衛省の確認が必要な点、了解できない点などについて、意見交換していきたいと思います。</p> <p>まず、①「災害対処拠点」についてから始めたいと思います。災害対処拠点の平時は主として、入間基地所在隊の訓練を実施する計画で、開放区域の中にある運動場については、入間基地が使用しない時間帯かつ土・日、休日及び夜間を基本として市民利用に供するとされています。</p> <p>これについて、ご意見をお願いいたします。</p>
澤田委員	<p>スポーツ施設の利用に関しましては、体育協会、ソフトボール協会、サッカー協会などと協議して、その傘下の人たちが利用できるように調整を図っていけば、問題なくできるのではないかと思います。</p>
浅見課長	<p>具体的な利用に関しましては、今後防衛省と市で協議して進めていこう</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>と思いますので、その際には是非とも体育協会等のご支援をいただきたいと思います と思っております。</p>
大賀志委員	<p>（施設が利用可能な）時間帯などはまだ白紙の状態、これから決める わけですね。</p>
浅見課長	<p>そうです。資料に書かれている、入間基地が使用しない時間帯かつ、土 日休日及び夜間、これ以外のことは具体的には決まっておりません。</p>
大賀志委員	<p>以前いただいた資料１０「入間基地隣接留保地の利用について」の３ペ ージに、「大規模災害等の発生に対しては、所要の部隊を迅速に輸送・展 開し、初動の対応に万全を期すとともに、必要に応じ、対処態勢を 長期 にわたり持続することが求められており、展開基盤の確保などの各種施策 を推進することとしています。」とあります。</p> <p>３月３１日の読売新聞に「１４万人を派遣、救助、７２時間以内、災害 １１県に」という記事があり、これは将来予想される大地震について政府 が発表したもので、南海トラフを想定しているため西の方ですが、このよ うな事態が発生した時にもそこ（入間基地）に集結するのですか。</p> <p>「展開基盤の確保などの各種施策を推進することとしています。」とい うことは、東日本など限定した地域ではなく、日本で起きた大災害の時 に、人や物資を集結させる場所としてこの施設を建設しようとしているわ けですから、１４万人がいつぺんに来るわけではないにしても、基地とし て利用するような計画なのでしょうか。</p>
浅見課長	<p>私が聞いている限りでは、首都直下型地震を想定しているということ で、南海トラフ大地震に関しては、必ず入間基地の東町側を拠点にする ということは聞いておりません。</p>

発 言 者	発 言 内 容
大賀志委員	<p>それではあまり意味が無いように思います。当然、自衛隊員、物資の集結の場所としては今回作る施設をメインとするのではないですか。それを防衛省に確認してください。</p>
浅見課長	<p>防衛省に確認します。私の知識で申し上げますと、東日本大震災の時には、被災地から直近の場所に拠点を作り対処していましたので、南海トラフの巨大地震に関しましては、東海から四国、九州等ですので、入間基地もひとつの要素にはなるかもしれませんが、より近い所を拠点にしていくと思います。いずれにしても防衛省に確認します。</p>
久原委員	<p>入間基地だけが災害対処拠点ではないと思いますが、首都直下型の場合には入間基地だけが拠点として考えられているのか、それとも、いくつか候補地があったり、これから建設しようとしているのか確認をお願いします。</p> <p>もう一点、これは豊岡区長会の要望でもあります。入間市には防災倉庫がありますが、豊岡区長会にもこの場所に防災倉庫のようなものができるか。費用は豊岡区長会ですべて負担することが可能であると聞いておりますので、この件についての可能性を検討していただけたらと思います。</p>
浅見課長	<p>まず、首都直下型地震の災害対処拠点が入間基地だけなのかというご質問ですが、資料の内容となりますが、まずは入間基地、東町留保地を最優先に考えているというように読み取っております。不明な点については改めて防衛省に確認いたします。</p> <p>もう一点の防災倉庫の関係ですが、財務省から防衛省に所管換えをして整備するものですので、その中に自治会の施設を作ることができるのかど</p>

発 言 者	発 言 内 容
澤田委員	<p>うか防衛省に確認いたします。ただ、原則としては難しいのではないかと考えております。</p> <p>災害対処拠点についてですが、大島の水害の時には入間基地からすべての物資を運んだと聞いております。また、新潟地震の時も12時に飛行機が入間基地を出発しようとしたけれども、新潟では12時を過ぎてからは着陸させないということで、夜間に物資を運ぶことができなかったという話も聞いております。東日本の際も入間基地から物資を運ぼうとしましたが、松島の飛行場が被害を受けてしまったため物資を運べなかったという話も聞いております。</p> <p>このように、災害が起きた時に必要であれば入間基地の滑走路を利用して全国に物資を送るということは今までも行っていますので、ここに災害対策拠点ができるからというわけではなく、現状で行っていることはそのまま遂行されると思います。ですから、どこかで災害が起きたときには飛行機の発着は増えるという解釈になると思います。</p>
大賀志委員	<p>2013年の新聞によれば、立川断層帯の地震のマグニチュードは7.1と想定されています。名栗断層と立川断層が繋がっており、しかも箱根ヶ崎の下を通っています。この活断層は浅い場所で地震が起きるタイプだそうです。ですから、備蓄食料や水について考えておいたほうが良いかと思います。</p>
浅見課長	<p>私が先ほど申し上げた立川断層帯の地震の規模もマグニチュード7.1でしたので、大賀志委員のお調べになった内容と一致しております。</p>
関根会長	<p>他にございますか。</p> <p>無ければ、②「自衛隊病院」についてです。自衛隊病院は、一般外来診</p>

発 言 者	発 言 内 容
大賀志委員	<p>療は自衛隊員及びその関係者のみを対象としますが、市民利用については、職域病院としての自衛隊員の診療に支障をきたさない範囲で、地元医師会等と協議の上、地域消防機関により救急搬送されてくる２次救急患者の受け入れを示しています。</p> <p>これについて、ご意見をお願いいたします。</p> <p>前回の会議で、現状では二次救急のみ受け入れるということになっていますが、かかり付けの医師の紹介があれば診療が受けられるように、市としても是非要望してもらいたい、というお願いをしました。それに対し、長谷川前課長は「しっかりと対応したい」と答えられましたが、どのようにしっかりと対応するのか教えてください。</p>
浅見課長	<p>この審議会の前に、防衛省と話し合いをもった際に、市内病院等からの医師の紹介があった救急患者の受け入れに関して防衛省に要望しました。</p>
大賀志委員	<p>回答は無いですね。</p>
浅見課長	<p>今のところありません。</p>
大賀志委員	<p>防衛省に要望したのであれば、次回からは口頭ではなく、文書で提出してください。</p>
浅見課長	<p>わかりました。検討します。</p>
大賀志委員	<p>前回会議で澤田先生からの「市当局は産婦人科を作って欲しいという要望はしないという理解でよろしいですか」という質問に対して、長谷川前課長は「今は示された内容で承知したという段階であります」と答えてい</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ます。ということは作らないということですよ。</p> <p>産婦人科の現状を調べたところ、入間市にある産婦人科はわずか4件であり、そのうち出産のできる産婦人科は2件しかありません。出産というのは本人にとっても周りの人にとっても非常に喜ばしく、大事なことです。</p> <p>ではなぜ産婦人科が少ないかということを調べたところ、医療訴訟が非常に多いのです。一昨日の新聞には帝王切開による障害で、日赤に2億円の支払いを命じたという記事が載っています。このようなことは個人のクリニックではとても対応できません。そのために医療保険がありますが最大1億円であり、掛け金も相当なものかと思われます。また、少子高齢化により生まれてくる子供が少ないことや、医師の間でも高齢化が進んでいることもあり、個人で解決できる問題ではありません。ですから、自衛隊病院の中に絶対に無条件で地域の住民を診察するという産婦人科を入れるべきです。また、狭山が3件、入間市が2件、所沢市が7件、飯能市が1件と少ないので、近隣の住民にも開放する必要があると思います。今回の自衛隊病院には産婦人科を入れることを是非要望していただきたく、防衛省には産婦人科を作りましょうという方向でしっかりと回答をいただくように交渉していただきたいと思います。</p>
浅見課長	<p>ご要望として承ります。</p>
澤田委員	<p>一部修正させていただきます。補償金は1億円ではなく、現在医師会が入っているのは無制限です。</p> <p>また、産婦人科の問題については医師会が防衛当局と5年前からよく議論しております。残念ながら自衛隊には御産ができる先生が誰もいません。ですから、お産ができる施設を作るということは人がいないため、ほとんど不可能です。産婦人科の先生を3人ないし5人集めて立派な施設を</p>

発 言 者	発 言 内 容
大賀志委員	<p>作るとなると、多額の費用がかかるので、自衛隊病院に産婦人科を入れるというのはほとんど不可能です。ここはあくまでも航空自衛隊の研究所のスタッフが中心となって作る病院です。入間基地にはすでに15人の先生が着任して研究等をしており、そこに岐阜病院と三沢病院からドクターが加わるということになっておりますが、そこには婦人科の先生はおらず、小児科の先生が1人いるだけです。</p> <p>そういった現実を見なければ、国だからそのような施設を作るのは当然だという考え方で要望しても、何の返事も得られません。これは私たちが再三研究した結果なので、無理なものは無理だと思います。</p> <p>そうかもしれませんが、何回でも話をして実現するように努力してもらいたいです。前回、長谷川元課長が「入間市は地権者なのでお金をかけずにこのようなことができる」とおっしゃいましたが、せっかくならば産婦人科も作って欲しいです。日本の産婦人科がこのような状況ならば、国の自衛隊もそのあたりのことは絶対に考えていただきたいです。お金がいくらかかるかはわかりませんが、それはそれとして、なんとか努力はして下さい。</p>
関根会長	<p>この審議会から、色々なことを加味しながら市長に答申を出すわけですから、委員の皆様には、これはお願いしたいな、ということをお願いしたい、100%認められるかはわかりませんが、そういった意見交換は慎重にしていきたいと考えております。</p> <p>他にございますか。</p>
高橋委員	<p>新しい自衛隊病院は60床程度だそうです、現在の自衛隊病院の病床の利用率は3割程度になっているようです。</p> <p>今後、市民利用として救急患者を受け入れる時に何床くらい利用させて</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見課長	<p>もらえるのか、という枠を設定していただければ良いと思います。</p> <p>ご要望として承ります。</p>
関根会長	<p>他に何かありますか。ないようでしたら次の3番目の緑地帯についてです。周辺の市街地からの景観等に配慮し、外延部に緑地帯を設置することとなっています。これについて意見ををお願いします。</p>
澤田委員	<p>緑地帯を作るということですので、是非豊岡第一病院の手前の踏切付近の道路を広げていただきたいです。市当局も昔から西武鉄道と話し合われてきました。留保地側から見て、左側は現在入間基地の土地となっていますが、その一部を無償で提供してもらい、踏切を広げることを緑地帯と共に要望すると良いと思います。</p>
浅見課長	<p>東町の踏み切りのところから、豊岡第一病院にかけては歩行者が通れるスペースが無いことを議会からもご要望いただいていますので、その点を踏まえましても市として考えていきたいと思います。</p>
関根会長	<p>他に緑地帯に関してご意見はありませんか。</p>
久原委員	<p>今の件についてですが、土地を持っているのは防衛省であり、新しく取得する土地ではないですね。そういう交渉が実際にできるのかどうか、実際話を持っていったのかどうか、できれば具体的に申し入れをしていただけたらと思います。</p>
浅見課長	<p>踏み切りの手前の東町側留保地側は財務省ですが、踏み切りより向こう側は入間基地となっておりますので、踏み切りより向こう側に関しまして</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>は、防衛省との折衝になると思います。なかなか良い機会がないとできないと思っておりますので、東町留保地の利用に併せて踏み切りの向こう側についても拡張できるように入間基地または防衛省と折衝して参りたいと思います。</p> <p>緑地帯についてご意見ありますか。無いようでしたら4番のその他についてです。現在は留保地を含む基地周辺の環境整備への配慮、特に踏切箇所について防衛省に要望していること、また、工事中及び完成後の運営における地元への配慮を防衛省に要請するとともに、必要に応じて調整していくなどがあげられていますが、これらについて、ご意見をお願いいたします。</p> <p>緑地帯のところで出た踏み切りの件ですが、災害対策拠点施設となると手前の十字路あたりからの道が若干細いという気もしています。その部分については市としても、防衛省なり財務省にお願いするのではないかと思います。踏み切りだけ直すと手前の道が狭いので、そのあたりについても出来る限りの努力をしていくと思いますので、その他についてご意見があればお願いします。</p>
高橋委員	<p>運動場への進入ルート、入り口ですが、彩の森入間公園と東町側からも入れるのでしょうか。また、駐車場はどこに確保されるのでしょうか。</p>
浅見課長	<p>現時点ではまだ具体的な内容は決まっておりません。資料の図はイメージですのではっきりとは申し上げられないのですが、少なくとも彩の森公園側からの入場は難しいかと思います。南側の踏み切りに通じる道からの進入は可能かもしれません。詳細については未定ですので、ご了承願いたいと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	他にございますか。
浅見課長	事務局からは無いですか。
浅見課長	<p>会長からもお話いただきましたが、幹2号線、つまり東町留保地の南側の縁を走っている、東町踏切までの道路について、今後もし東町の留保地が利用されることになれば、当然自衛隊の車両等も通るかもしれませんし、道路が傷んだ際には防衛補助として、きっちりと補修などしていただくとか、東町の踏み切りの拡幅の問題は是非お願いしたいと思っております。</p> <p>もし受け入れた場合、工事中、完成後の災害対策拠点施設の運営において、周辺の市民の方々への影響がないように強く申し上げていきたいと考えているところです。</p>
関根会長	他にご意見ありますか。
久原委員	今のところ具体性がまだ明確になっておりませんので、これから具体的な計画案が出てくるかと思います。それに対する意見というのは市で最終的に審議、判断し、要望するのか、あるいは、具体的にになるのは次年度になるかと思いますが、その際にどこでもう一度具体的な計画案に対して審議するのか、再度審議会をつくるのかといったことを確認したいと思います。
浅見課長	<p>まず、この審議会の委員さんをはじめ、市民の方々のご要望に関しましては、先程会長さんがおっしゃられたように、この審議会では是非とも色々なご意見を出していただきたいと思います。たとえ受け入れるという結論になったとしても、審議会として色々な意見が出て、こういった内容を入れてもらえなければ市としてはOK出しません、というように、審議会が付帯意見を付けた形で答申していただくことなどが考えられますので、ゼ</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p>ひとも色々なご意見をお寄せいただいて、それを防衛省側に伝えていくという姿勢をとりたいと思います。実際に受け入れた後、実際の工事から完成までの間、また、完成した後も、その時点でこの審議会を再度行うのかについては、今後の検討の課題とさせていただきますが、少なくとも事務局としましては、実際の工事中、完成するまで、完成した後についてもきちんと防衛省側に市民の方々の要望を伝えて、市民の方々にとって不利益とならないようにしていきたいと思っております。</p> <p>ほかにご意見ありますか。なければ4のその他を終了させていただきます。</p> <p>本日は貴重なご意見を頂きありがとうございました。次回は本日出された意見を整理した上で、5月1日の広報や5月末に開催する市民説明会により寄せられた意見も事務局から報告いただき、参考にしながら審議会の意見をまとめていくことにしたいと思っております。これで本日の議事については以上となりますが何か全体を通してご質問はございますか。</p> <p>ないようでしたら次第3の次回の日程について事務局からお願いします。</p>
亀田副主幹	<p>次回の日程についてご説明いたします。次回の日程ですが6月12日（金）を予定しております。当初の予定では、月1回程度の開催ということで進めて参りましたが、5月末に市民説明会が開催されますので、5月開催分を6月12日とし、6月開催分は6月の末で予定をさせていただきたいと思っております。日程等は確定次第早急にご案内したいと思えます。また補足ですが、東町留保地の利用内容を示したものを5月1日号の広報でお知らせします。また、市民説明会を5月29日（金）午後7時～9時、5月30日（土）午後4時～6時に市民活動センターにおいて開催いたしますのでよろしくお願いします。</p>
関根会長	<p>他に何かありますか。ないようでしたらこれをもちまして平成27年度</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>第1回ジョンソン基地跡地利用計画審議会を終了いたします。</p>

議事のてん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

27年5月22日

議長の署名

関根 栄一

議長が指名した者の署名

大賀 志保